

広島県ホームページ 「新型コロナウイルス感染症情報」
“よくある質問コーナー” の開設について

令和2年3月5日
健康福祉局

1 趣旨

県民が、感染症予防について正しく理解し、安心して生活することができるよう、相談窓口で特に質問の多かった内容について、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症情報」に“よくある質問コーナー”を開設し掲載する。

(相談件数：1/29～3/2 5,564件)

2 開設日 令和2年3月6日

3 アドレス

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/50/korona-soudan-kennsai.html>

(予定)

4 掲載内容

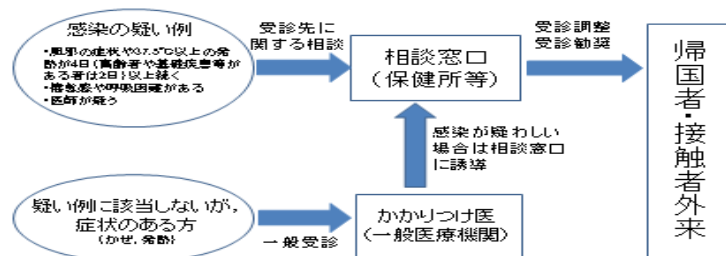
- 相談窓口寄せられた内容を分析し、感染症予防のために特に必要な事項を掲載する。
- 対応策はわかりやすく解説し、県民が実施可能なものとする。
- 感染症のステージに応じて随時更新する。

【掲載例】

問) 昨夜から37.5度以上熱があります。発熱が4日以上続かないと医療機関は受診できませんか。

答) 新型コロナウイルス感染症疑い例に該当せず、発熱等がある場合は、かかりつけ医（一般医療機関）を受診してください。なお、この場合あらかじめ電話して受診することをお勧めします。

新型コロナウイルス感染症
現時点での一般的な対応の流れ



問) 感染した(疑われる)家族を看病する場合、気を付けることはありますか。

答) 症状のある人はマスクをしましょう。

可能であれば、看病を行う人は1人に限定しましょう。看病する人をなるべく1人に限定することで、接触のリスクを下げることができます。

看病するときは、手袋やマスクをつけ、使用したマスクや手袋などはビニール袋に入れて袋を閉じて捨てます。看護のたびにこまめに手洗いを行いましょう。

また、看病する人も毎日2回は体温測定を行い、感染症状が出てこないか十分気を付けましょう。

(参考: 新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック 監修: 賀来満夫(東北医科薬科大学医学部感染症学教室))

問) 消毒用アルコールが入手できません。部屋の清掃・消毒するにはどうしたらよいですか。

答) 手がよくふれるところ、たとえば、テーブル、ドアノブ、トイレなどは、感染予防のため1日1回以上、消毒してください。

消毒用アルコールが入手できない場合は、市販の家庭用塩素系漂白剤を使用する方法もあります。

体液や排泄物による目に見える汚れがある場合は、消毒液(希釈した漂白剤0.1%: 1,000ppm)に浸した使い捨てできるキッチンペーパー等で拭きます。トイレのドアノブ等は、消毒液(希釈した漂白剤0.02%: 200ppm)を使用してください。漂白剤を使用した場合、金属はさびてしまう可能性があるため、消毒液で拭いた後に水拭きを行いましょう。

消毒液の作り方

- 次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤(濃度約5%)」に含まれています。
- ここでは、「家庭用塩素系漂白剤」を使用した、消毒液の作り方をご紹介します。
- ペットボトルを使用すると簡単に作ることができます(キャップ一杯が約5ml)

消毒液を使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方
調理器具、ドアノブ、衣類の消毒など	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤10ml (ペットボトルのキャップ2杯分) + 水 2.5ℓ (500mlのペットボトル5本分) 
おう吐物、ふん便の処理時	1,000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤10ml (ペットボトルのキャップ2杯分) + 水 0.5ℓ (500mlのペットボトル1本分) 

(参考: 新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック 監修: 賀来満夫(東北医科薬科大学医学部感染症学教室))